

# 卓越した審美眼をもつ名店シェルマンがセレクト 珠玉のアンティークセレクション

国内外のアンティークウォッチファンから絶大な信頼を集め銀座の名店シェルマン。  
卓越した審美眼で選び抜かれた名品が並ぶ同店がセレクトした珠玉のアンティークウォッチを紹介しよう。

構成・文◎堀内大輔（編集部）／写真◎笠井 修

Ref.466/1

Ref.552

Ref.1517

上品ながらも捻りの効いた  
オールドパテックの傑作



角形ケースのRef.466/1と552に搭載されるのが、ラウンドムーヴメントのCal.9（写真はRef.552）である。分割された受けには美しいコード・ド・ジュネーブ装飾が施されており、ムーヴメントの美観も秀逸だ



デザイン性の高さにも定評があるRef.1517の希少なピンクゴールド仕様。ある程度の厚みをもたせつつも先端をカーブさせた分針や、手首に沿って緩やかに傾斜した存在感あるラグなど、細部の作りも凝っている

## PATEK PHILIPPE パテック フィリップ

アンティークパテックの名店として知られるシェルマンでは、ドレスウォッチの範となつた王道的なモデルのラインナップはもちろん、アール・デコを感じさせるツートン仕様や飛び数字インデックス仕様など、少し捻りの効いたモデルのラインナップも充実している。ほかの人とは少し違つたデザインを楽しみたいという人にもおすすめだ。

- Ref.1517 / K18PG (32mm径)。手巻き (Cal.12-120)。1945年製。198万円
- Ref.466/1 / SS×PG (22×30mmサイズ)。手巻き (Cal.9)。1929年製。220万円
- Ref.552 / K18YG (35×36mmサイズ)。手巻き (Cal.9)。1934年製。132万円

## IWC

### アイ・ダブリュー・シー

ヘラトン自動巻きでよく知られるIWCだが、実は良質な手巻きムーブメントも展開していた。“堅牢な実用時計を作る”ことを目指した同社のボリシーは、これらのような上品な意匠のモデルにも反映されており、メンテナスさえ欠かさなければいつでも普段使いできる、優れた実用性を備えている。

■(右) SS (32.5mm径)。手巻き (Cal.83)。1930年代製。66万円 ■(中) K18YG (31mmサイズ)。自動巻き (Cal.8531)。1960年代製。66万円 ■(左) K18YG (34mm径)。手巻き (Cal.60)。1940年代製。39万6000円



普段使いできるアンティークの  
筆頭でもあるオールドインター

## MOVADO

### モバード

マニュファクチュールとして、3針だけでなくクロノグラフモデルも展開した実力派メーカー。モバード。ながらも1930～40年代にかけて製造されたモデルは、ムーヴメントのみならずデザインも秀逸で、愛好家から高い支持を得る。

■(右) クロノグラフ。SS (32mm径)。手巻き (Cal.90M)。1940年代製。88万円 ■(中上) SS (31mm径)。手巻き (Cal.75)。1940年代製。33万円 ■(下) SS (31mm径)。手巻き (Cal.90M)。1930年代製。198万円



秀逸な意匠がアンティーク  
ファンの心をくすぐる実力派



30mmキャリバー

シーマスター

コンステレーション

## 入門者向けの 実用アンティーク

### OMEGA

#### オメガ

普段使いとして定評があり、アンティークオメガを代表する30mmキャリバー、シーマスター、コンステレーションを20万円前後という特別価格で展開。こうしたアンティーク入門者向けのモデルが充実している点もシェルマンの強みだ。

■(右) SS (34mm径)。自動巻き (Cal.551)。1960年代製。25万3000円 ■(中) SS (34mm径)。自動巻き (Cal.351)。1950年代製。19万8000円

■(左) SS (33mm径)。手巻き (Cal.30T2SC)。1940年代製。24万2000円

## 幅広いアンティークファンを 満足させるラインナップ

国内屈指の繁華街であり同時に時計激戦区でもある東京・銀座に店舗を構えるシェルマン銀座店。アンティークを中心とした同店のラインナップの中でも、とりわけ定評があるのがオールドパテックの品揃えで、シェルマンの名は海外の愛好家の間でもよく知られている。100万円台から購入できる入門機からオークションクラスの逸品、さらには懐中コンプリケーションまでと幅広く、ショーケースに並ぶオールドパテックのラインナップは圧巻だが、一方でオメガやロンジン、IWCといった定番ブランドのラインナップも見逃せない。

なぜなら、時計界の最高峰を長く取り扱ってきたことで培われた確かな審美眼で選りすぐった個体がセレクトされているからだ。しかも10万円台というリーズナブルな価格で狙えるモデルも結構多い。加えて、シェルマンでは手頃なモデルでもコンディションや雰囲気の良さだけではなく、ある程度、普段使いとして楽しめることを前提に、実用性の高いモデルをセレクトしている点は特筆だろう。

上のオメガなどその好例だ。いずれも信頼性の高いムーブメントを搭載しており安心感があるうえ、適度な経年変化によってアンティークらしい雰囲気も十分に楽しめる。さらに価格は20万円前後とリーズナブルなため、アンティークの入門機としてもうつてつけである。

目の肥えた愛好家から入門者まで、幅広くアンティークファンを満足させてくれるラインナップがシェルマンの大きな魅力であり、名店と言われるゆえんだ。